

平成31年3月
海外電力調査会

中国原子力事業者との技術交流

海外電力調査会は、中国の原子力事業者である中国核工業集団（CNNC）、中国広核集団（CGN）および国家電力投資集団（SPIC）と定期的に交流を行っております。

平成31年2月、日本から中国に5名の専門家を派遣し、意見交換および第三世代プラントの視察を実施しました。

1. 実施期間

平成31年2月25日(月)～ 3月1日(金)

2. 交流テーマ

「新型軽水炉安全性向上の取り組み」

- (1) EPRにおけるSA（シビアアクシデント）対策、SA計装
- (2) 静的安全技術の既存型炉への一部導入
- (3) 自然現象を起因事象とする外部事象

3. 視察先

台山発電所（EPR タイプ：1,750MWe）、三門発電所（AP1000 タイプ：1,250MWe）

